

これまでの「生命保険に関する研究助成」の助成テーマ一覧

※テーマは申請時のタイトル

平成28年度

19世紀ドイツにおける民間保険制度に関する歴史社会学的研究
生命保険の販売実績および解約実績が生命保険会社の資産運用ポートフォリオに与える影響
生命保険会社の販売促進活動に関する研究:戦前新聞広告分析を中心にして
女性向け保険商品開発におけるライフコース戦略
-ライフイベントの選択の多様性とリスクヘッジ-
近年のPPI(Payment Protection Insurance)をめぐる適合性原則及び不招請勧誘の問題
告知義務と契約前発病不担保条項
年金資本主義と会社法改革—2006年英国の会社法改正を事例に
保険販売における2つのコンバージョン:IDDと保険業法改正
犯罪免責条項の存在意義と保険法における展望

平成27年度

日本の小地域レベルにおける死亡率の傾向の解明と生命保険への影響及び示唆
保険金詐欺的請求の規律に関する一考察
ドイツにおける「保険競争法」に関する研究について
保険契約における「重過失」の意義
生命保険会社に代表される危険回避型機関投資家の最適資産運用法の確立と理論解析
年金資本主義:「資本主義の多様性」と金融危機
生命保険会社の恒久的施設と所得の帰属-ドイツとの比較
家計の近視眼的思考と婚姻・出産の選択
生命保険契約における任意法規の意義:消費者契約法10条と無催告失効条項・復活条項
生産年齢人口減少社会における家族と世帯の多様化と生命保険商品の販売戦略-ライフコース・アプローチによるライフイベント診断-
保険会社のグループ経営における会社法と金融監督法の交錯
医療イノベーションの推進と医療財政の健全化に向けた民間医療保険の役割に関する経済分析

平成26年度

長寿リスクの計測・管理及び長寿リスクを伴う金融商品の価値評価のための数理的手法の開発
家族の介護参画を考慮に入れた新しい生命保険モデルの創出—阪大アンケートを使ったマイクロ実証分析—
少子高齢化社会における生命保険制度と家族の行動に関する経済理論研究
生命保険の支払請求において成年後見制度の利用が果たす機能—生命保険と成年後見制度に対する意識を規定する要因と地域差に着目して—
日英告知義務制度の比較法的検討
民間医療保険加入が幸福度に及ぼす影響に関する研究:日米比較
生命保険会社のグローバル市場参入戦略分析
生命保険契約の買取をめぐる課税問題の比較法分析—所得課税を中心に—
生命保険契約をめぐる消費者紛争事案に係る裁判外紛争解決手続(ADR)の判断枠組み及び解決技法に関する総合的研究
保険制度の活用による不法行為法制の変容可能性
保険金詐欺請求への対応に関する研究
保険募集に係る業法規整のあり方に関する研究

平成25年度

家計・生命保険会社とインターネットチャネルに関する定量的研究
第三者による保険事故招致と保険者免責
一時払い終身保険の商品性と受容性に関する考察—日中比較を交えて—
先進グローバル生命保険会社の海外進出に関する決定要因分析
生命保険に係る個人所得課税上の諸課題—ドイツの税制改正を中心に—
生命保険法における精神疾患・精神障害に関するわが国裁判例の体系的分析—告知義務と自殺免責を中心に—
給付反対給付均等原則の法的再定位
法人契約における保険事故招致免責規定に関する研究—フランス法を参考にし—

平成24年度

生命保険会社の販売チャネル戦略に関する研究
規制の変化が生命保険市場および生命保険会社に与える影響に関する研究
企業年金規制システムの社会学的考察～規制行政のエンフォースメントにおける効率的運用への序論的考察
生命保険産業の成熟による生命保険会社の経営戦略と課題—生命保険会社の海外進出に関する日・韓比較を中心に—
中国における商業医療保険の特徴と戦略的課題
保険金受取人の保険金請求権取得の固有権性理論の再検討—比較法的見地から—
欧州における生命保険分野に関する競争法の適用について
フランス保険法における保険事故招致免責規定に関する基礎的研究
相互会社における定款自治・当事者自治の可能性とその限界

平成23年度

ソルベンシー規制と会計規制の運動性と非運動性—包括的な規制の在り方を探る—
近代日本におけるアソシエーションと生命保険ビジネス—交詢社と明治生命の活動の検討を軸に(1880-1920)
保険リテラシーと民間生命保険市場に関する研究
中国医療保障制度をめぐる官民役割分担に関する考察
保険監督者国際機構(IAIS)の役割と今後の課題—国際保険会社(International Insurers)に対するIAISの国際基準(原則No.2)を中心に—
組織の経済学から見た保険取引と保険会社の役割に関する研究
地域金融市場における銀行の保険窓販解禁の影響に関する検証
保険金受取人の地位と相続法理との関係にかかる総合的研究
米国エリサ法における受託者の義務と年金受給者保護

平成22年度

生命保険業の効率性—規制緩和や技術革新は効率性を高めたのか?—
中国における経済発展と保険事業の将来展望
オバマ医療保険改革と民間医療保険への影響
格差社会と若者の生命保険加入行動に関する分析
保険業法の目的—「保険業の公共性」と「保険契約者等保護」の意義—
生命保険会社のコーポレート・ガバナンスと財務報告—株式会社化がもたらす影響を中心に—
いわゆる変額保険に関する説明義務違反に基づく損害賠償請求訴訟における民事訴訟法248条の適用可能性とその適用の意義に関する研究

平成21年度

少子・高齢化社会における民間医療保険のあり方に関する研究
生損保相互参入の効率性の観点からの検証
家計における民間個人年金の加入行動に関する研究
日系移民コミュニティのリスクマネジメントとコミュニティ福祉—ロサンゼルスとソルトレークシティの日系保険エージェントを事例に(1904-1965)
バイオ・メディカルにおける保険制度活用に向けた基礎理論の提唱に関する研究
米国金融危機と生命保険会社規制—American International Groupのケースを参考にし—
企業年金政策の国際比較～リスク行政に主眼を置いて～
他人のためにする生命保険契約の対第三者的効力
生命保険相互会社の研究開発行動が市場成果に及ぼす影響について
保険規制の基礎理論—生命保険をめぐる日中比較分析研究を中心に
生命保険契約における被保険者の同意の法的性質について
リスク・マネジメントの制度化・義務化の意義と限界—企業会計の事例を通じた検証—

平成20年度

カリフォルニア州民事訴訟法における生命保険債権保護
生命保険会社のリスクテイキングー諸外国や他産業との比較ー
生命保険会社の企業統治メカニズムにおける社外取締役の役割ー経営者の交代、報酬政策に関する実証分析ー
法人による生命保険契約の受取人変更に関する研究
生命保険契約と被保険者
州政府による医療給付「義務化」政策の意義と限界：雇用主の医療給付改革との関連で
保険金受取人の地位とその変動をめぐる法的検討
『第三者のためにする契約』における『第三者』概念の再検討
詐欺無効条項の適用に関する一考察ー米国の不可争条項に関する裁判例を参考に
保険会計と他の会計との関係性の研究
保険仲介者の助言・説明義務に関する比較法的考察
カナダ・オーストラリアの保険負債の公正価値評価への取組に関する調査研究ー日加豪の国際比較ー
日本統治時代の台湾における保険判例に関する一考察：保険金の支払場所およびその裁判籍に関する判例を中心として

平成19年度

学校における生命保険教育の現状と課題について
ニューヨーク州保険法における生命保険債権保護
生命保険の銀行窓販解禁に対する実証的評価
生命保険契約における法人の機関による被保険者故殺免責に関する研究
アカウント型保険の構造と性質に関する研究
傷害保険における保険事故の概念にかかるとの考察ー米国における判例試論及び”accidental”の概念をもとに
外部専門家導入による確定給付企業年金基金のガバナンス向上に関する研究ー特に外部専門家理事についてー
不可争条項における一考察ー米国法を参考にー
超過積立の企業年金資産は誰のものか？ー年金資産及び負債の本質をめぐってー
戦前台湾における日本の生命保険会社の営業活動ー台湾人の生保加入をめぐってー
わが国における機関投資家としての生命保険会社とコーポレートガバナンスー投資先企業の株主総会における議決権及び提案権行使の実状を踏まえてー
エンベディッド・バリュー(EV)開示の意義と証券化
保険契約の会計基準に関する経済的影響の予測ー日米欧の比較を通じてー
少子高齢化社会におけるパーソナル・リスクマネジメントー生命保険とリスクコミュニケーションー
オペレーショナル・リスクと生命保険会社の企業価値ー諸外国の事例に基づく考察ー

平成18年度

2004年ドイツ保険契約法改正草案における剰余金配当に関する規定とその問題点
わが国の公・私的介護保険制度における保険契約関係と情報開示
社会における生命保険と互酬性に関する考察
保険契約に係る会計をめぐる公正価値の意義と機能の研究
生命保険募集人の不法行為に関する研究
疾病保険におけるいわゆる「契約前発病不担保条項」について—ドイツ法における「待機期間」(Wartezeit)をめぐる議論を参考に—
生命保険会社におけるコーポレート・ガバナンス—社外取締役の役割を中心に—
アメリカにおけるマネジドケアの実態とその帰結—雇用主提供医療保険を中心に—
機関投資家としての生命保険会社とコーポレートガバナンス
機能的アプローチからみた生命保険業と銀行業の比較—企業の借入金明細表データをを用いた貸付機能に関する実証分析—
米国における疑わしい保険金請求に対する保険者の対応
介護問題に対するリスク観の影響について
生保リスクの証券化

平成17年度

(生命)保険契約の射倖契約性に関する基本的研究
自殺免責論
保険契約における告知義務違反の効果に関する研究
米国における生命保険の買い取りに関する法規制の概要—ニューヨーク州保険法を素材にして—
保険事故のあり方について—立証責任の分配を中心として—
傷害保険金請求における偶発的な事故の証明
生命保険における社会的・文化的背景に関する考察
中国生命保険業の発展プロセスに関する研究
生命保険における被保険者の法的地位
モラル・リスク排除を目的とした規定の沿革について—他人の生命の保険契約に関するわが国の法規制—
台湾における生命保険の受容過程—戦前の日本生保会社の台湾進出をめぐる—
保険仲介者の専門家責任—英国の保険ブローカーを参考に—
わが国保険業における募集チャネルの多様化に関する計量的評価—保険業法改正後のパネルデータを用いた募集チャネル費用効率性の検証—

平成16年度

(生命)保険契約の射倖契約性に関する基本的研究
ドイツにおける生命保険契約と他の金融商品との関係—その規制の内容とあり方
団体生命保険の比較法的研究
生命保険マーケティングの役割の変化に関する研究
生命保険会社の有価証券投資行動
社会・経済環境の変化と消費者の保険選択行動に関する考察
生命保険会社による銀行への出資—外部規律付け可能性と金融市場における機関投資家としての生保の役割—
生命保険契約に基づく権利の価値の法的評価
生命保険販売における保険仲介者の行為規制
日本人のリスク観について
わが国の保険産業における企業形態と流通構造の選択に関する実証分析
これからの生命保険事業の組織と市場と規制のあり方の研究
傷害事故および不慮の事故における外来性の要件について

平成15年度

わが国のコーポレートガバナンスにおける生命保険会社の役割-負債権者としての生命保険会社の役割-
保険事故発生後の通知義務に関する研究
ドイツ保険契約法における保険料調整条項による既存の保険契約の条件変更と保険会社の受託者性
21世紀における生命保険マーケティングの在り方に関する研究
生活保障システムの変化における消費者のリスク保障行動
保険業における募集制度の適正化-説明義務を中心として-
日本の生命保険会社における倫理的価値理念の再構築-価値共有型企業倫理の制度化へ向けて-
外資系生命保険会社の新規参入戦略に関する一考察
相互会社の法構造と保険契約者等の保護
告知義務の意義とその限界
生命保険企業の広告に関する理論・実証分析
生命保険会社の企業形態、コーポレートガバナンス、IT、産業融合と新たな規制のあり方の研究
わが国生命保険事業における経営多角化について
年金基金のリスク負担構造からみたわが国の企業年金の制度改革に関する研究

平成14年度

わが国の機関投資家の企業統治における役割
生命保険業における逆選択の諸問題
韓国における生命保険会社の破綻処理
生命保険募集人の「一社専属制」に関する経済分析
生命保険契約におけるモラル・リスクと詐欺無効の理論
生命保険会社の組織と株式市場の評価
生命保険相互会社におけるストック・オプションの利用—保険株式会社である損保子会社の株式を目的としたストック・オプションの利用—
ドイツ法における生命保険契約に対する信託的構成の在り方—剰余金配当との関連において
連続時間モデルにおける最適生命保険需要
生命保険会社の経営戦略と破綻問題
カナダにおける生命保険契約法規制について
消費者のリスク認知における行動と性質に関する考察
保険契約者の保険金受取人指定変更の意思表示についての一考察
株価と為替レートの関係に関するマクロ分析

平成13年度

リスク管理手段としての生命保険会計 — 契約者利益の観点から —
生命保険契約の失効・復活制度に関する比較法的研究
法人による保険事故招致免責に関する諸問題
わが国生命保険会社の金融ビジネスの特徴と課題
遺伝子情報利用をめぐる各国保険会社の動向と保険経営への影響
①リスク・アセスメントとリスク認知の問題に関する一考察、
②異常災害と保険選択の現実的關係に関する一考察
生命保険会社の株式会社化とその計量経済学的評価
生命保険相互会社の株式会社化をめぐる配当法理についての一考察
エーレンバルクの生命保険の二重性格理論と現代ドイツ保険契約法における保険料分割理論との関係
生命保険市場における合併・提携に関する経済分析
直接金融への移行が経済厚生に与える影響
保険会社におけるリスク・マネジメントの有効性と限界
日韓の保険募集組織に関する研究